

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、当社グループ第112期（平成25年4月1日～平成26年3月31日）の事業活動について、ご報告申し上げます。

当連結会計年度においては、当社グループの総力を挙げて営業強化施策の実行に努める一方、プリプレス部門の統合や生産管理機能の一元化によるコスト削減、品質の維持向上、納期の短縮に取り組みました。また、将来に向けた技術基盤の確立のため技術本部を発足させ、活動を開始しました。

以上の事業活動の結果、電子部品製造事業の売上は減少したものの印刷事業の売上が増加したことにより、全体としての売上は微増となりましたが、損益面では減益となりました。

なお、当期の期末配当金につきましては、1株につき10円とさせていただいております。

光村印刷は、創業者である光村利藻が、美術品や芸能、風景といった「美」を再現し、多くの人に感動を伝えたい」と写真や印刷技術の向上に情熱を傾け、事業化したことに端を発します。そこから一世紀の時を経て、紙への印刷にとどまらず、デジタルメディアのコンテンツ制作やエレクトロニクス製品の製造等へと、事業領域を拡げてまいりました。今後もあらゆる市場ニーズに対し効率的な営業活動、生産活動を展開してまいります。

株主の皆様をはじめとするステークホルダー各位の助力添えをいただきながら、活力あふれる会社にするため社員の力を結束し取り組んでまいり所存ですので、今後とも倍旧のご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



平成26年6月

代表取締役社長 二瓶春樹

事業報告

連結売上高は186億79百万円（前年同期比0.9%増）となりましたが、損益面では、営業利益は3億53百万円（同31.5%減）、経常利益は3億41百万円（同34.6%減）、当期純利益は2億25百万円（同37.3%減）となりました。

今後の経営環境は、IT化や企業のコスト削減策による印刷需要減退や価格競争の激化に加え、用紙等の材料

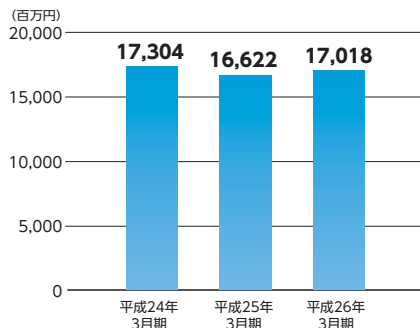
の値上げが懸念され、引き続き厳しい状況が続くものと思われます。営業強化施策を着実に実行するとともに、全社に関わる利益確保のための手段の構築と、そのための仕組みづくり、将来に向けた全社施策を実行し、経営基盤の強化と業績向上に努めてまいります。

セグメント別事業報告

印刷



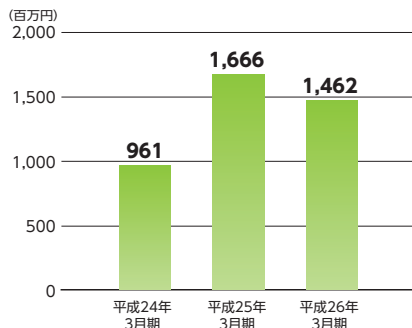
宣伝用印刷物や伝票類の増加があり、売上高は170億18百万円（前年同期比2.4%増）となりました。今後は営業体制の強化を図り、利益を意識した受注活動の展開や新規得意先の開拓に努めるほか、クロスメディア部を新設し、川上業務やメディアの横断展開による利益確保を図ってまいります。生産部門におきましては、生産原価の低減に取り組んでまいります。



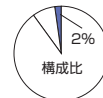
電子部品製造



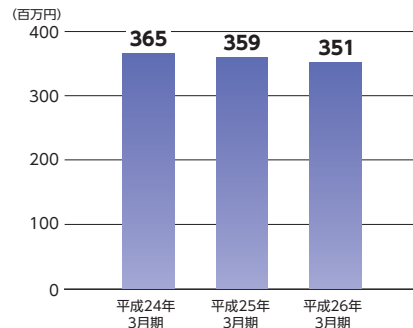
タッチパネル製品の得意先の生産調整もあり、売上高は14億62百万円（前年同期比12.2%減）となりました。安定的な受注の確保に努め、スマートフォンのみならず車載用タッチパネル市場への展開を図るとともに、生産効率の改善、固定費の削減によりコストダウンを図り、収益の改善に努めてまいります。



不動産賃貸



不動産賃貸事業の売上高は3億51百万円（前年同期比2.1%減）となりました。現有資産を有効活用し安定した収益の確保に努めてまいります。



営業品目



光村印刷グループでは「MOVE ON！」をコンセプトに掲げ、私たちの製品が見た人の“心を動かす”品質であること、“人を動かす”力を秘めていること、“未来を動かす”可能性を持つことを信じて、日々のものづくりに励んでいます。

美術印刷



商業印刷



新聞印刷



デジタルコンテンツ



ビジネスフォーム



エレクトロニクス



連結計算書類

連結貸借対照表要旨

(単位：百万円)

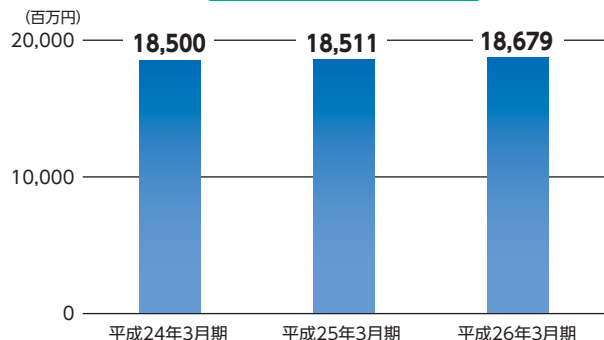
科目	前期末	当期末
	平成25年3月31日現在	平成26年3月31日現在
資産の部		
流動資産	7,527	6,325
固定資産	20,664	21,280
有形固定資産	15,668	15,656
無形固定資産	11	28
投資その他の資産	4,984	5,596
資産合計	28,192	27,606
負債の部		
流動負債	7,818	6,741
固定負債	2,914	3,135
負債合計	10,733	9,877
純資産の部		
株主資本	16,505	16,412
資本金	5,607	5,607
資本剰余金	4,449	4,449
利益剰余金	7,159	7,067
自己株式	△ 712	△ 712
その他の包括利益累計額	822	1,175
少数株主持分	131	140
純資産合計	17,458	17,728
負債純資産合計	28,192	27,606

連結損益計算書要旨

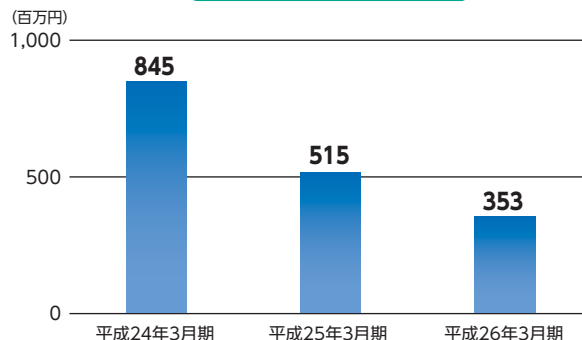
(単位：百万円)

科目	前期	当期
	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
売上高	18,511	18,679
売上原価	15,413	15,708
売上総利益	3,097	2,970
販売費及び一般管理費	2,582	2,617
営業利益	515	353
営業外収益	151	117
営業外費用	144	128
経常利益	522	341
特別利益	47	96
特別損失	46	68
税金等調整前当期純利益	523	370
法人税等合計	149	133
少数株主損益調整前当期純利益	374	236
少数株主利益	15	11
当期純利益	359	225

売上高



営業利益



(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結包括利益計算書要旨

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
少数株主損益調整前 当期純利益	374	236
その他の包括利益	569	358
包括利益 (内訳)	944	595
親会社株主に係る包括利益	929	583
少数株主に係る包括利益	15	11

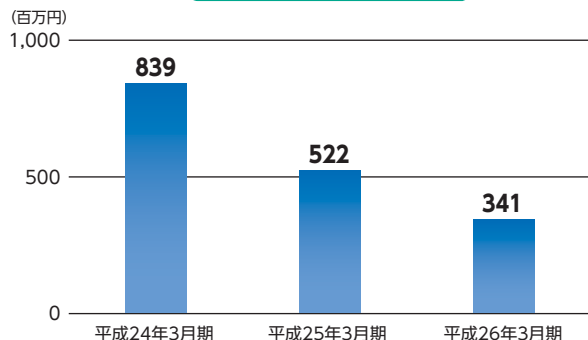
連結キャッシュ・フロー計算書要旨

(単位：百万円)

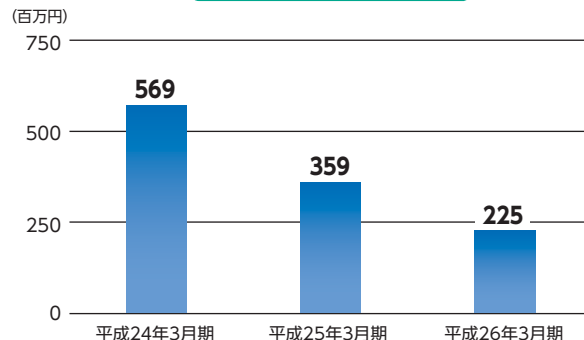
科目	前期	当期
	平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで	平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,537	929
投資活動によるキャッシュ・フロー	△763	△459
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,323	△932
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減(△)額	△549	△462
現金及び現金同等物の期首残高	2,302	1,753
現金及び現金同等物の期末残高	1,753	1,290

来期の連結業績は、売上高184億円、営業利益4億50百万円、
経常利益4億40百万円、当期純利益2億60百万円を見込んでおります。
また配当金につきましては、1株当たり年10円とさせていただきます予定です。

経常利益



当期純利益



メガソーラー発電事業を開始します

栃木県的那須事業所の敷地の一部に大規模太陽光発電システムを設置し、平成26年秋からメガソーラー発電事業に参入いたします。太陽光という環境負荷の少ない再生可能エネルギーを利用して、電力供給不安緩和への貢献と、地球環境保全に関する取り組みを強化することが目的です。約15,600㎡の工場内の敷地で発電できる量は年間約120万kWhで、これは一般家庭約300世帯分の年間使用電力に相当し、そのCO₂削減効果は年間約613tに及びます。今後は7月に工事を着工し、11月には事業を開始する予定です。



那須事業所

新聞印刷事業のご紹介

当社の新聞印刷事業は、昭和44年に読売新聞の日曜版のカラー印刷から始まりました。現在では川越新聞工場において、読売新聞の朝夕刊や号外、スポーツ報知の印刷を行っております。

新聞印刷事業の開始から45年を経た当期には、指令業務の一元化による管理統制の強化のため“工場センター”を立ち上げ、さらなる品質とスピードの向上に努めております。今後も優れたカラー技術と高い納期管理能力で、社会の公器とも言える新聞の使命を支えてまいります。



川越新聞工場

メセナ(芸術文化支援)活動のご紹介

当社では企業コンセプトでもある「感動伝達」の多彩な実現を目指して、メセナ活動を行っております。当期には本社ビルに併設するミツムラ・アート・プラザを光村グラフィック・ギャラリー(MGG)と改称し、グラフィックデザイナーを中心とした作家の発表の拠点としてリニューアルオープンしました。

オープニングを飾ったのは、グラフィックデザイナーやアートディレクターとして活躍される上條喬久氏による「WINDSCAPE MINDSCAPE」。この展覧会では、光、水、空気、風、音といった形のないものをテーマに据えて、氏の繊細で細密な線画から、デジタル加工と印刷手法を駆使して、誰も見たことのない〈純粋な風景〉を生み出しました。

その他、各地方で公開審査会やクリエイターの育成、地場デザインの向上などに取り組んでいるADC(アート・ディレクターズ・クラブ)を取り上げ、各地の洗練されたクリエイティブワークを紹介しました。

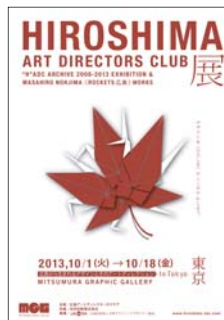
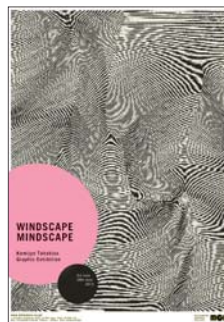
※ MGG は無料でご覧いただけます。

※ 最新情報は当社ホームページ

(<http://www.mitsumura.co.jp/>)にてご確認ください。

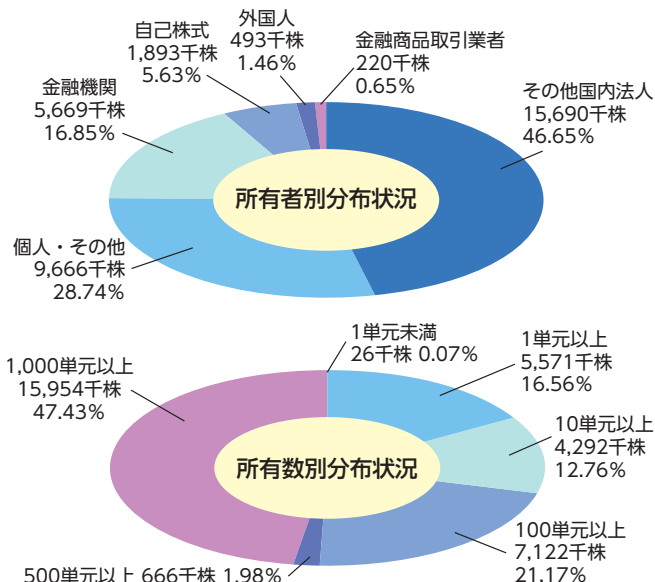


光村グラフィック・ギャラリー(MGG)



株式の状況 (平成26年3月31日現在)

発行済株式総数 33,634,203 株
株主数 3,112 名



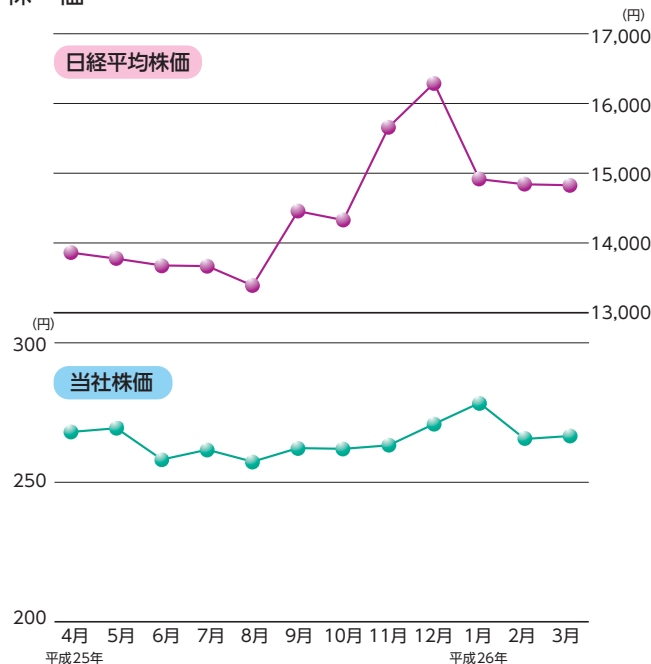
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱製紙株式会社	5,117	16.12
DIC 株式会社	4,570	14.39
株式会社読売新聞グループ本社	2,246	7.07
株式会社三菱東京 UFJ 銀行	1,127	3.55
大日本スクリーン製造株式会社	1,000	3.15
株式会社十六銀行	666	2.09
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	489	1.54
三菱 UFJ リース株式会社	488	1.53
鈴木 繁	464	1.46
株式会社みずほ銀行	450	1.41

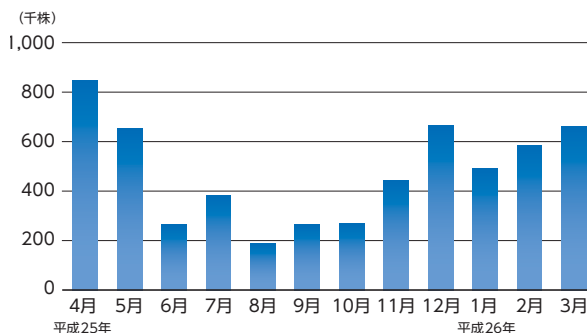
(注) 1. 当社は自己株式 1,893,616 株を保有しております。当該株式には議決権がないため、上記大株主から除外しております。また上記持株比率については、発行済株式の総数から自己株式を減じた株式数(31,740,587 株)を基準として計算しております。
2. DIC株式会社の所有株式は、同社が退職給付信託の信託財産として提出しているものであります。(株主名簿上の名義は、「日本マスタートラスト信託銀行株式会社(退職給付信託口・DIC株式会社口)」であります。)

株価の推移

株 価



当社株式の売買高



会社概要

商号 光村印刷株式会社
創業 明治34年10月20日
設立 昭和11年12月21日
資本金 56億788万円(平成26年3月31日現在)
従業員 713名

事業所

本社 〒141-8567
東京都品川区大崎一丁目15番9号
電話：03-3492-1181 (代表)

大阪支店 〒541-0056
大阪市中央区久太郎町一丁目3番9号
三菱紙販ビル7階
電話：06-6266-5801

名古屋支店 〒460-0003
名古屋市中区錦三丁目7番9号
太陽生命名古屋第2ビル6階
電話：052-951-0621

川越工場 〒350-1165
埼玉県川越市南台一丁目1番地1
電話：049-242-4025

草加工場 〒340-0013
埼玉県草加市松江五丁目2番31号
電話：048-935-1201

那須工場 〒324-0036
栃木県大田原市下石上1378番7
電話：0287-29-2610

役員 平成26年6月27日現在

代表取締役社長 (社長執行役員)	二瓶春樹
取締役 (副社長執行役員)	阿部茂雄
取締役	北条文雄
取締役 (執行役員)	齋藤淳一
取締役 (執行役員)	小幡紀敏
取締役 (執行役員)	嶋山芳夫
取締役 (執行役員)	吉崎久
取締役	紺道樹義
常勤監査役	久富祥一
監査役	齋藤剛
監査役	牛島光夫

(注) 取締役紺道樹義氏は、社外取締役であります。
監査役齋藤剛、牛島光夫の両氏は、社外監査役であります。
取締役紺道樹義、監査役齋藤剛の両氏は、東京証券取引所
規則に定める独立役員であります。

関係会社

株式会社光村プロセス
株式会社城南光村
光村商事倉庫株式会社
株式会社メディア光村
群馬高速オフセット株式会社

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
剰余金配当の基準日	3月31日および中間配当の 支払を行うときは9月30日
定時株主総会の基準日	3月31日
定時株主総会の開催	毎年6月
単元株式数	1,000株
公告掲載紙	官報
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料)
特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-782-031(通話料無料)

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座を開設されている証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

